



©2005 石塚真一/小学館

第452号＜令和8年(2026年) 7月7日＞

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ

特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報を提供しています。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/police/sangaku/index.html>

■先週(6/29～7/5)の山岳遭難発生状況

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
6/30 火	入笠山	女	61	無事救出	道迷い	単独で入笠山周辺を登山中、道に迷い、行動不能。
6/30 火	北アルプス 針ノ木岳	男	67	死亡	不明	単独で入笠山周辺を登山中、道に迷い、行動不能。
6/30 火	北アルプス	男	68	無事救出	疲労	単独で白馬大雪渓を登山中、疲労のため、行動不能。
7/2 木	北アルプス	男	68	無事救出	疲労	単独で白馬大雪渓を下山中、疲労のため、行動不能。
7/3 金	北アルプス	男	66	負傷	滑落	2人パーティで前穂高岳から下山中、スリップし、滑落、負傷。
7/4 土	北アルプス	女	52	負傷	転倒	3人パーティで大天井岳から槍ヶ岳へ向け縦走中、スリップし、転倒、負傷。



上記の遭難現場

7/5 日	八ヶ岳連峰 天狗岳	男	86	無事救出	道迷い	単独で天狗の奥庭付近を登山中、道に迷い、行動不能。
----------	--------------	---	----	------	-----	---------------------------

■ 山岳遭難発生状況～令和 8 年（2026 年）1 月 1 日～7 月 5 日

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
R8 全体	111	20	2	40	67	129	62
R7 全体	133	28	3	62	62	155	93
前年同期比	-22	-8	-1	-22	+5	-26	-31
R8 単独登山	48	11	1	7	29	48	19
R7 単独登山	56	17	3	17	19	56	37
前年同期比	-8	-6	-2	-10	+10	-8	-18

■ 長野県警察山岳安全対策課（県遭対協救助部）からのワンポイントアドバイス

先週、長野県内では、7件の山岳遭難が発生しました。

このうち、白馬大雪渓での遭難は、猿倉から単独で入山した遭難者が、登りと下りでそれぞれ救助要請を行い、2度も救助された遭難事案です。

2回とも疲労による遭難ですが、1度目（登り）の遭難は、午後9時ころ、「夜になっても宿泊予定の登山者が到着しない」という山小屋からの情報提供によって認知し、標高約 2,650m付近で、疲労のため行動不能となっていた遭難者を、遭対協の救助隊員が宿泊予定の山小屋へ収容したものです。

2度目（下り）の遭難は、2日後の午後2時半ころ、標高約 2,250m付近を下山中、疲労によって、再び行動不能に陥り、知人を介して救助要請を行ったものです。県警山岳遭難救助隊員が、ストレッチャーで白馬大雪渓を搬送し、猿倉まで背負い搬送により、救助しました。

この遭難の大きな要因として、「**根本的な体力不足**」があります。体力不足は、行動が遅延するだけでなく、疲労の蓄積により、集中力の低下を招き、滑落やスリップ等の遭難にもつながります。「**登りたい山**」が必ずしも「**登れる山**」ではありません。これから夏山最盛期を迎えるにあたり、長野県内の登山を計画されている方も多いかと思いますが、「計画」、「装備」、「体力」を充実させ、ご自身のレベルに見合った山選びをお願いします。

■山域別発生状況～ 令和 8 年(2026 年)1 月 1 日～7 月 5 日

区分		件数	件数 比率	死者	行方 不明	負傷者	無事救出	遭難者 計
北アルプス	槍穂高	8	7.2%	0	0	5	4	9
	後立山	37	33.3%	12	1	9	26	48
	その他	7	6.3%	1	0	6	1	8
	計	52	46.8%	13	1	20	31	65
中央アルプス		9	8.1%	0	0	3	7	10
南アルプス		0	0.0%	0	0	0	0	0
ハヶ岳連峰		14	12.6%	4	0	4	8	16
その他の山岳		36	32.4%	3	1	13	21	38
計		111		20	2	40	67	129

■態様別発生状況～ 令和 8 年(2026 年)1 月 1 日～7 月 5 日

区分	件数	件数 比率	死者	行方 不明	負傷 者	無事 救出	遭難者計
転・滑落	34	30.6%	8	0	28	0	36
転倒	9	8.1%	0	0	9	0	9
病気	7	6.3%	3	0	0	4	7
道迷い	23	20.7%	0	0	0	33	33
落石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪崩	3	2.7%	2	0	1	0	3
落雷	0	0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	11	9.9%	2	0	0	9	11
不明・他	24	21.6%	5	2	2	21	30
計	111		20	2	40	67	129

■男女別・年齢別発生状況 ～ 令和8年(2026年)1月1日～7月5日

区分	男性					(人)	女					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	0	0	1	5	6	30 34.1%	0	0	0	2	2	16 39.0%	8	46 35.7%
20代	2	0	2	13	17		0	0	1	4	5		22	
30代	1	0	2	4	7		1	0	1	7	9		16	
40代	4	0	6	6	16	31 35.2%	1	0	1	1	3	15 36.6%	19	46 35.7%
50代	5	0	5	5	15		1	0	7	4	12		27	
60代	2	1	7	8	18	27 30.7%	2	0	2	2	6	10 24.4%	24	37 28.7%
70代以上	1	1	3	4	9		0	0	2	2	4		13	
計	15	2	26	45	88		5	0	14	22	41		129	
比率	68.2%						31.8%							

【長野県山岳遭難防止対策協会からのお知らせ】

■ 信州の山岳遭難防止対策プロジェクト～寄付を募集しています。NEW!



登山の楽しい思い出作りを陰から支える活動にご支援ください。長野県では、長野県山岳遭難防止対策協会の活動等を通じて、登山者の安全確保に向けた啓発活動や遭難救助に取り組んでいます。信州の山岳を安全に楽しんでいただくため、全国の皆様の温かいご支援を心からお待ちしております。なお、寄付金額一万円ごとに「安全登山啓発カード」を1枚差し上げます(最大4枚まで)。

以下の寄付応募サイト、または、二次元コードから皆さまの寄付を受け付けています。 <https://www.gachi-naga.jp/projects/4661/>

■登山計画書を作成・提出しましたか？

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/smartphone/tozankeikakusho.html>



①ゆとりある計画を立てて、登山計画書を提出してください！

②家族や知人にも必ず詳細な予定(行先)を伝えましょう！

※登山計画書を提出し、情報を共有しないと、入山場所や遭難地点の特定に時間がかかり、捜索活動が遅くなってしまいます。

※山小屋、地元自治体、観光協会等を通じて登山口までの道路や登山道の状態、残雪の状態など、現地の最新情報を事前に把握しておきましょう。

■ 横尾登山口・柵池自然園登山口への「啓発ゲート」の設置について **NEW!**

長野県では、遭難件数、遭難者数ともに3年連続で過去最多を更新しています。遭難の要因として、登山計画や装備等の準備不足、体力・技術不足、登山ルールに対する認識不足などが指摘されています。このため、遭難防止対策の検討の一環として、登山者への安全啓発を目的とした「啓発ゲート」を試験的に設置することにしました。該当登山口から登山する際は、「登山準備・ルール確認票」の提出をお願いします。

期 間 : 令和8年7月18日(土曜日)～8月11日(火曜日・祝日) 25日間

場 所 : 北アルプス奥上高地横尾登山口(松本市) 及び
北アルプス柵池自然園登山口(小谷村)

実施内容: 啓発ゲートを通過する登山者に「登山準備・ルール確認票」を用いて安全登山に必要な準備が整っていることの確認を行います。登山装備など必要な準備が整っていない場合や、入山する時間が遅い場合には、入山の自粛をお願いする場合があります。

*「登山準備・ルール確認票」の内容や提出の方法については、長野県のHPでご確認ください。

https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/keihatsu_gate.html

■ 『山小屋エネルギーコスト削減促進事業補助金』のご案内

長野県は、物価高騰の影響を受けている山小屋がエネルギーコストの削減を進めるため、省エネ設備の導入に伴う事業補助金を創設しました。

1. スケジュール

令和8年3月16日～9月30日 申請受付中!

2. 補助対象者

県内及び県境周辺に山小屋を有する事業者

3. 対象経費

高効率LED照明、高断熱型業務用冷蔵・冷凍機、断熱ガラス・サッシ、ヒートポンプ付き給湯器、発電・蓄電設備(非常用を除く)の更新及び一部新設を含む整備に係る経費

4. 補助率

基本コース 1/2 以内 促進コース 3/4 以内

5. 補助額(1山小屋あたり)

基本コース⇒下限額50万円、上限額500万円 促進コース⇒上限額1,500万円

6. 問い合わせ先

長野県山岳高原観光課 026-235-7251

詳細は以下HP ⇒ https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/yamagoya_energycost.html

■ご活用ください！長野県の山岳関係の情報提供サイトです！

★山岳遭難救助隊から最新情報を発信中！ ⇒ **長野県警察 山岳遭難救助隊 公式X**
https://x.com/NAGANO_P.M.R/

★その山はあなたの実力に見合っていますか？ ⇒ 「**信州 山のグレーディング**」
<https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/gure-dexingu.html>

★長野県警察 山岳情報 ⇒ 1週間ごとの最新の遭難統計を確認できる
<https://www.pref.nagano.lg.jp/police/sangaku/index.html>

★長野県 山岳情報
<https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangaku/index.html>

* 統計の内容は、長野県警察本部の発表時点のものです。
* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光スポーツ部山岳高原観光課」までお寄せください。
sangaku@pref.nagano.lg.jp

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝